

山の日情報

(第 35 号)

令和6年10月21日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

県自然保護課では、山の環境整備を行うボランティア事業を実施しています。令和6年度については、悪天候等により中止とした日もあり、1回のみの開催となりましたが、10月5日(土)に秋田駒ヶ岳で実施し、角館高校山岳部と大曲高校登山部、そして地元山岳会など計42名でのボランティア作業となりました。



紅葉のピークはあと2週間ほど先かなといった印象でしたが、シーズン中の週末ということもあり、当日の八合目駐車場は朝から満車状態。絶え間なく往復する路線バスも常に満員といった感じで、たくさんの登山者の方々が訪れていました。

改めて、秋田駒ヶ岳が人気の登山スポットであることがうかがえます。

今回は八合目の駐車場から阿弥陀池まで登り、過去に風雪等により飛ばされた池外周の木道を運搬・再設置する作業とごみ拾いを行いました。

嬉しいことに、この日の登山ルートでごみはほとんど見つからず、マナーが守られ、美しい環境が保たれていることが感じられました。

1時間ほど登り、作業ポイントに到着。飛ばされている木道は数も多く、そして非常に重いため、参加者を5班に分け、各班で協力して作業を行います。

↑ 阿弥陀池外周の木道
(風雪により飛ばされ、溜まっている状況。これを運搬・再設置！！)



・・・が、水を含んだ木道は予想以上に重く、8～10人がかりでないととても運ぶのが大変なことに気付き、1本当たりの配置人数を増やしてなんとか作業スタート。

運搬距離も長いため、メンバー全員で奮起するかけ声を掛け合いながら運びます。



作業終了後は、避難小屋をバックに記念撮影をし、昼食休憩。

この日いらした登山者の方々にも、歩きやすくなった木道を喜んでもらうことができました。

高校の生徒さん方の若い力、そして地元山岳会など山に関わるの方々の卓越した知識や長年の経験のおかげで、作業がスムーズにはかどりました。改めて、ご協力に感謝申し上げます。

作業後の集合写真 →

阿弥陀池まで登ると、八合目よりもさらに風が強くなり、時には突風が吹くことも。（何しろ、この木道が広い池の端から端へ飛ばされるぐらいですので・・・）

木道を持ちやすくするため、下から通した横木を、両サイドからつかみ、そして慎重に持ち上げます！



運んできた木道を、途切れていた箇所に設置。そして、前後のつながりをスムーズにして登山者の皆さんが歩きやすくなるよう、高低差の調整や、かすがい等による連結作業をしています。

標高も高く、自然条件がなかなか厳しい場所ではありますが、再設置した木道が少しでも長持ちしてほしいという思いを込め、全員で協力して一連の作業を行いました。



このボランティア事業に対しては、今年も引き続き、明治安田生命保険相互会社秋田支社様から参加者に飲み物を提供いただいています。たくさんの方々に支えられ、事業を実施できています。この場を借りて、ご支援に感謝申し上げます。